

# 地球目線で未来をデザインする

～デジタル地球儀「触れる地球」デモンストレーション講演～

日時：平成26年3月9日（日） 13:30～14:30

場所：山形県産業科学館2階「フリースペース」

「触れる地球」の発案者 竹村真一教授による  
デモンストレーション講演を行います。

問合せ先：山形県産業科学館（TEL023-647-0771）



「触れる地球」は次世代のデジタル地球儀。地球の温暖化や台風・津波の発生過程、渡り鳥の移動など、地球のダイナミズムを生きた形で体感できます。



## 竹村真一氏（京都造形芸術大学教授／文化人類学、情報環境論）

東京大学大学院文化人類学博士課程修了。  
地球時代の新たな「人間学」を提起しつつ、ITを駆使した地球環境問題への独自の取り組みを進める。

世界初のデジタル地球儀「触れる地球」(05年グッドデザイン賞・金賞、中型普及版は2013年キッズデザイン最優秀賞・内閣総理大臣賞を受賞)や「100万人のキャンドルナイト」、「Water」展(07年)などを企画・制作。

2014年2月、丸の内に「触れる地球ミュージアム」を開設。環境セミナー「地球大学」も丸の内で主宰。

東日本大震災後、政府の「復興構想会議」検討部会専門委員に就任。また国連UNISDR（国連防災機構）より「国連防災白書2013」のコンセプトデザイン・ディレクターに指名される。「地球の目線」、「Water」、「宇宙樹」、「22世紀のグランドデザイン」、「地球大学講義録」「地球を聴く」(坂本龍一氏との対談)等著書多数。